

令和7年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

実施機関名(主事業の実施機関名)	広島市
ふ り が な	ひろしまえきみなみぐちひろばのさいせいびとうろめんでんしゃえきまえおおはしの一とのせいび
1. 事業(施策)の名称	広島駅南口広場の再整備等(路面電車駅前大橋ルートの整備)
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	令和2年11月 9日 ~ 令和7年8月3日 ※事業全体(広島駅南口広場の再整備等)は、令和11年3月31日完成予定
災害枠で推薦の場合	(災害発生日) 年 月 日 (災害名)
3. 事業費(工事費)	52,000百万円
4. キーワード	交通結節点整備
5. 事業概要	
陸の玄関である広島駅南口において、交通結節点としての機能性、安全性、快適性の確保などはもとより、国内外からの来訪者に対しても世界に誇れる広島の顔となる場所とするため、JR西日本や広島電鉄と連携し、広島駅南口広場の再整備、ペDESTリアンデッキの整備、路面電車の駅前大橋ルートや循環ルートの整備等を行うことにより、陸の玄関にふさわしいまちづくりを進めている。 こうした中、令和7年8月3日に路面電車駅前大橋ルートが開業した。	

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(b)現場条件に配慮した工法選定	(b)行政と企業等との共働(広島駅南口広場の再整備等推進協議会) (d)イベント開催(ラッピングコラボトレイン、路面電車駅前大橋ルート開業前イベント)
アピールする 2)「秀でた成果」	(a)乗り換え利便性及びアクセス性の向上 (e)世界的にも数少ない新たな景観形成の実現	(f)地域の活性化(にぎわいの創出)

7. 特にアピールしたい点
工事に着手した令和2年に、広島市、JR西日本、広電が相互に調整し、円滑な事業の推進を図るため広島駅南口広場の再整備等推進協議会を設立し、3者が連携し、まちづくりの方向性を共有して事業を進めている。 路面電車駅前大橋ルートの整備により、JRとの乗り換え利便性の向上に加え、本市が推進する「楕円形の都心づくり」における東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区間の所要時間が短縮されたことでアクセス性も強化され、回遊性の向上のみならず、にぎわい創出にもつながっている。 なお、路面電車が駅ビルの2階に高架で乗り入れるのは、全国でも初めてのことである。

8. 事業を代表する写真及びキャプション



路面電車駅前大橋ルートを走行中の路面電車



広島駅2階 路面電車乗降場

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

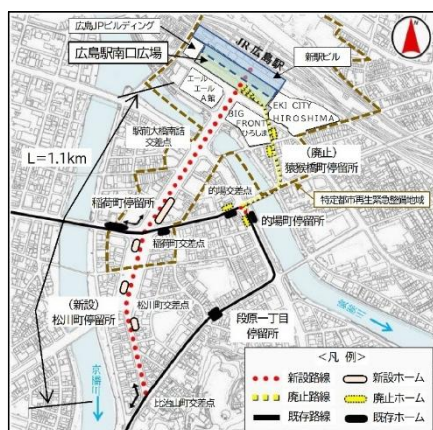
【事業内容】

広島駅南口広場の再整備等については、広島駅周辺地区が楕円形の都心の東の核として、一層魅力的なものとなり、西の核である紙屋町・八丁堀地区とを行き来する都心の回遊性の向上が図られ、広島広域都市圏においては中四国地方全体のにぎわいの創造につながっていくものとするための総仕上げとして欠かせない事業であり、交通結節点としての機能性、安全性、快適性の確保はもとより、世界に誇れる広島顔としてふさわしい場所にするなどを目指すとしている。

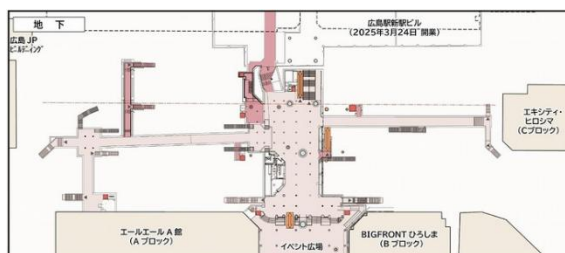
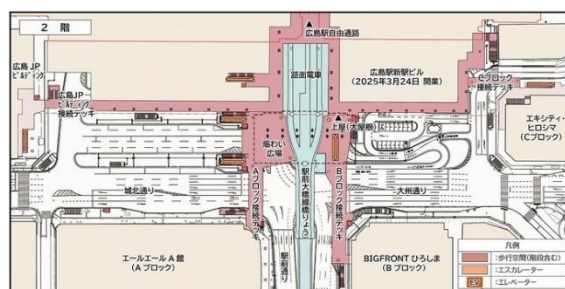
路面電車駅前大橋ルートは、JR 西日本による駅ビルの建替えと連携し、全国でも初めてとなる路面電車を新駅ビルの2階レベルへ高架で乗り入れることで、公共交通機関相互の乗り換え利便性が向上するとともに、従前と比較して短絡ルートとなることから、路面電車の乗車時間が短縮されアクセス性の向上が図られた。



航空写真



路面電車のルート図



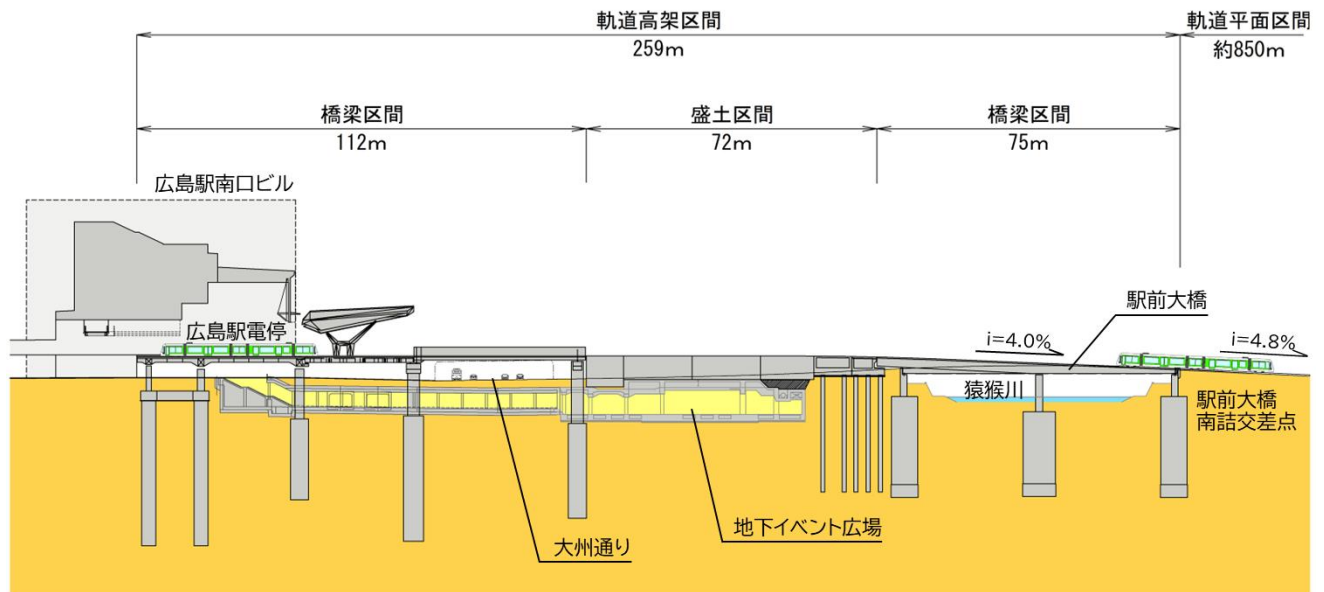
レイアウト図

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

【事業箇所及び内容】

事業箇所：広島駅～比治山町交差点

延長：約1.1km（高架区間約260m、平面区間約850m）

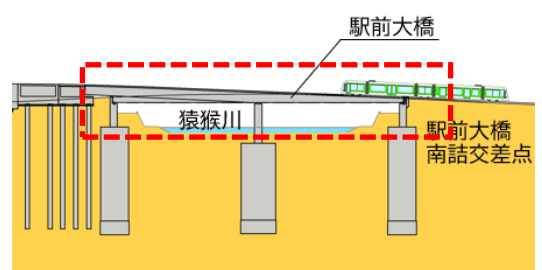


縦断面図

【アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」】

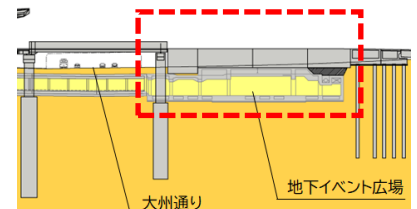
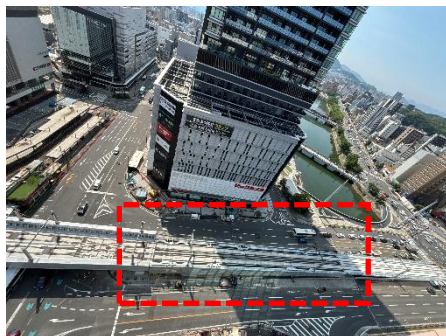
現場条件に配慮した工法選定〔①-1〕(b)〕

路面電車駅前大橋ルート of 駅前大橋橋りょうについて、現況の駅前通りの諸交通への影響を最小限に留めるため、架設時の交通規制の範囲に制約があったことから、24分割架設+スライド工法にて架設することで、限られた施工ヤードでの架設を進めた。



架設状況

また、地下イベント広場の支障とならないよう、橋脚を設けず、既存構造物に影響を与えない軽量盛土材（発砲スチロール：EPS 工法）を用いた盛土構造とした。

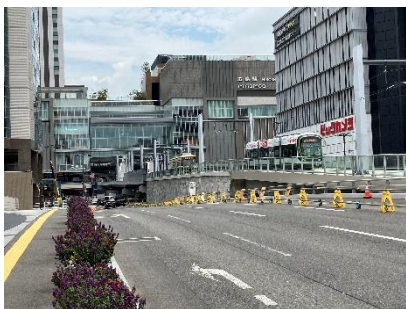


軽量盛土の状況

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

世界的にも数少ない新たな景観形成の実現〔①-2〕(e)〕

開放的で魅力的な新駅ビルの中央空間に、路面電車が乗り入れるという世界的にも数少ない新たな景色を獲得した。



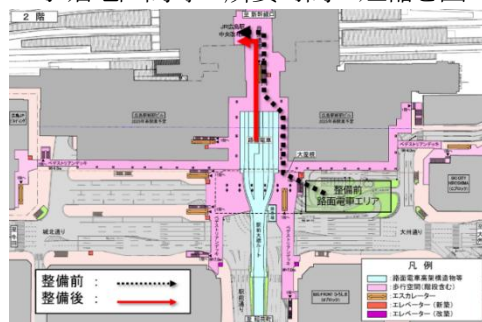
2 階レベルに乗り入れる路面電車



中央空間

乗り換え利便性及びアクセス性の向上〔①-2〕(a)〕

路面電車駅前大橋ルートの整備に伴い路面電車と JR の乗り換え時間の短縮とともに広島駅から紙屋町・八丁堀地区間等の所要時間の短縮を図った。



乗り換え利便性の向上



アクセス性の向上

イベント開催(ラッピングコラボトレイン、路面電車駅前大橋ルート開業前イベント)〔②-1〕(d)〕

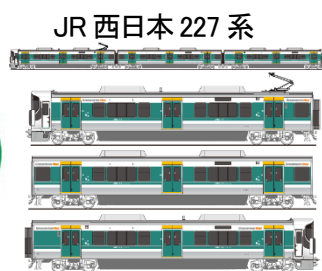
J R 西日本、広島電鉄、広島市及び地域まちづくり団体と路面電車駅前大橋ルート開業の機運醸成を図るため、官民連携イベントを開催した。また、広島電鉄と JR 西日本の車両デザインを入れ替えフルラッピングで実現した「ラッピングコラボトレイン」を運行した。



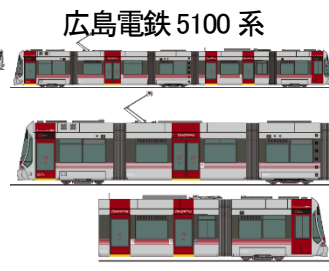
イベントの様子



ヘッドマーク



JR 西日本 227 系



広島電鉄 5100 系

ラッピングコラボトレイン

地域の活性化(にぎわいの創出)〔②-2〕(f)〕

令和 7 年 8 月 3 日の開業以降多くの方が訪れている。中央空間は、3 者の施設が混同するが、各々が個別にデザインを主張するのではなく、川のきらめきや折り鶴の折りを基調とした統一感のある広島らしさを取り入れるとともに、電停と J R 改札、駅ビルがシームレスにつながり、電車に乗る・見るが楽しめる空間を演出している。

